

Y04b 「長野県は宇宙県」の取り組み

衣笠健三, 齋藤正雄, 縣秀彦 (国立天文台), 小林尚人, 青木勉, 森由貴 (東京大学), 村田泰宏 (JAXA/ISAS), 三澤透 (信州大学), 大西浩次 (長野高専), ほか「長野県は宇宙県」実行委員会

長野県は日本の中でも特に宇宙と関わりが強い県である。というのも、美しい星空はもちろん、多くのプラネタリウム、天文同好会、宇宙航空産業、それに多くの天文研究施設がある。また、昨年度の長野県出身の油井宇宙飛行士の活躍は記憶に新しい。そこで、「長野県は宇宙県」を合言葉として、長野県がもつ「宇宙に近い」というすばらしい資産を共有し、この魅力を広く伝えるための活動を行うための組織を立ち上げた。「宇宙」を教育と地域振興のための資産として活用し、また観測環境を守ることを目的とする。

まず、国立天文台野辺山と東大木曾観測所を中心とした長野県内の天文研究施設による連絡協議会を2016年7月に立ち上げた。その中では、長野県は宇宙県であることを示すための客観的な指標を示す作業を行っている。一方で、第一回「長野県は宇宙県」ミーティングと題し、長野県内の天文関係者に広くよびかけて、相互の情報共有や連絡を行うための組織作りを行う機会を2016年11月23日に設けた。研究者や教育関係者だけでなく、科学館等の職員、天文同好会メンバー、さらに行政関係者など、当初の予想を大きく上回る約100名もの参加があった。その会合では、以下の松本宣言が承認された。「長野県がもつ「宇宙に近い」というすばらしい資産を多くの人たちと共有し、その魅力を広く伝えていくことにより、長野県の地域振興、人材育成、観光、天体観測環境維持に寄与することを目的とする。また、参加する団体・個人は、この目的のために、お互いの特徴を認めつつ、協力をし活動する。」今後、宇宙県HP (<http://www.nro.nao.ac.jp/~uchuuken/html/index.html>) にて情報を出していく予定である。本講演では、これまでの活動のまとめと仕組作りを含めた今後の活動について議論したい。